## 環境マネジメントシステム導入報告書

(	宛	先	)	京	都	府	知	事	令和 5年 7月 2	24日
住所()静岡県				主たる事	務所の	所在地)			氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ジヤトコ株式会社 代表取締役社長 佐藤 朋由	

環境	きマネジメン	トシステムの	名 称	IS014001
適	用	範	囲	本社(A地区, B地区, C地区)、富士地区(第1地区, 第2地区, 第3地区, 第4地区)蒲原地区、富士宫地区、掛川地区、八
導	入	年 月	日	平成10年 6月 30日
認	証	番	号	497860 UM15
基	本	方	針	環境とクルマが共生できる社会の実現 テクノロジー: エネルギー伝達効率の高いトランスミッション開発 汚染予防 : 環境問題の未然防止及び法令の遵守 資源有効活用: 資源、エネルギー使用の最小化 継続的改善 : 環境マネジメントシステムの有効性向上
	に配慮した事業活動 標(以下「目標」と	」を自主的に進めてい。 いう。)	くため	毎年度初めに全社環境EMPが制定され、それに基づき各地区毎に地区環境EMPを制定する。削減目標については下記の通りです。 令和5年度 全社ではCO2削減目標は台数当たりのエネルギー量前年度比3.8%削減廃棄物削減目標は前年度比2.2%削減
目標	票を達成する	ための取組の		月々の削減目標値の閾値グラフを見える化し、毎月のEMPフォロー会議で認識・共有する。 又、未達すれば是正処置を行い挽回する仕組みを取組んでいる。
				毎月の環境マネジメント確認会議で進捗確認を継続実施している
目標	を達成するた	めの取組の進捗	状 況	
目標する	を達成するための取 評価	組の成果及び当該成身		毎月の環境マネジメント確認会議にてサイト責任者へ進捗状況の報告を 行ない、更に上期末と年度末に振返りを実施する事で当初計画通りに進 捗したかの成果評価を行います。
事業	き活動に係る	法令の遵守の		毎月の環境マネジメント確認会議にてサイト責任者へ進捗状況の報告を 行ない、更に上期末と年度末に振返りを実施する事で当初計画通りに進 捗したかの成果評価を行います。
環境	マネジメントシステ	ムの評価及び見直しの		社内評価として年度初と年度末には全社の環境統括委員会が開催される。内部監査システムがあり毎年実施。社外評価として外部審査機関のDQS Japanにて監査を受けシステム評価及び継続的な改善に取り組んでいる。 前年度において目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。